



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月10日

上場会社名 ニチモウ株式会社

上場取引所 東

コード番号 8091 URL <http://www.nichimo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 和明

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長兼財務部長 (氏名) 小島 章伸

TEL 03-3458-4550

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	31,351	0.1	745	18.6	855	15.5	662	9.5
2023年3月期第1四半期	31,322	20.5	915	37.4	1,012	32.1	731	29.4

(注)包括利益 2024年3月期第1四半期 1,566百万円 (14.6%) 2023年3月期第1四半期 1,367百万円 (121.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	161.93	
2023年3月期第1四半期	214.08	208.00

(注)2024年3月期第1四半期において、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	90,856	26,066	28.7
2023年3月期	78,647	24,095	30.6

(参考)自己資本 2024年3月期第1四半期 26,053百万円 2023年3月期 24,080百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		70.00		90.00	160.00
2024年3月期(予想)		90.00		90.00	180.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	131,000	3.3	3,100	7.9	3,500	8.7	2,500	2.6	700.23

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	4,504,400 株	2023年3月期	4,248,200 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	337,840 株	2023年3月期	337,731 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	4,089,136 株	2023年3月期1Q	3,416,861 株

(注) 当社は、役員向け株式報酬制度を導入しており、期末自己株式には該当信託口が保有する当社株式が含まれております。また、当該信託口が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、コロナ禍で抑制されていた経済活動の正常化を背景に、内需を中心に緩やかに持ち直しが見られました。一方、原材料およびエネルギー価格の高騰に伴う物価上昇や為替変動による影響に加え、世界的な金融引締め等による景気への影響が懸念されるなど、先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

このような経済環境のなか、当社グループの事業基盤であります水産、水産加工・流通、食品の各分野におきましても、人流の回復や入国制限緩和に伴うインバウンド需要の伸長が見られるものの、原料価格や光熱費の高騰などに伴う消費者の生活防衛に対する意識の高まりにより、消費マインドに慎重な姿勢が見受けられるなど、厳しい環境が継続しております。

こうした情勢のもとで、当社グループは、3ヵ年経営計画「第137期中期経営計画（Toward the next stage）」の2年度として、経営方針「浜から食卓までを網羅し繋ぐ」をベースに、当社グループならではの一贯した体制で営業展開を推し進めてまいりました。

以上の結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間における売上高は313億51百万円（前年同期比28百万円の増加）、営業利益は7億45百万円（前年同期比1億70百万円の減少）、経常利益は8億55百万円（前年同期比1億57百万円の減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億62百万円（前年同期比69百万円の減少）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

<食品事業>

すり身部門では、市況が低迷し売上は減少いたしました。販売量は堅調に推移し、営業利益は前年同期並みとなりました。鮮凍水産物部門では、カニは相場の下落が続いたことに加え、通販向け販売が低調に推移するなど、売上、営業利益ともに大きく減少いたしました。また、北方凍魚は、ホッケ・赤魚などの原料販売が為替変動の影響を受け、売上、営業利益ともに減少いたしました。助子は、人流の回復により明太子などの土産向けの販売が堅調に推移いたしました結果、売上は増加いたしました。原料価格の高騰の影響により営業利益は前年同期並みとなりました。加工食品部門では、養殖銀ザケの販売に加え、ツナやサケ・マス加工品の販売が順調に推移したことで、売上、営業利益ともに増加いたしました。

これらの結果、売上高は195億49百万円（前年同期比8億15百万円の減少）、セグメント利益は5億65百万円（前年同期比97百万円の減少）となりました。

<海洋事業>

漁網・漁具資材部門では、依然として国内において漁獲不振の影響が続いているものの、きめ細かな営業活動に徹したことにより、海外まき網用漁具資材の販売が好調に推移いたしました結果、売上、営業利益ともに大きく増加いたしました。船舶・機械部門では、船用品や船舶用機器類の販売が堅調に推移したことで売上、営業利益ともに増加いたしました。養殖部門におきましても、各種養殖用資材、養殖用餌料の販売やサケ科魚類を中心とした種苗の販売が順調に推移いたしました結果、売上、営業利益ともに増加いたしました。

これらの結果、売上高は58億73百万円（前年同期比11億71百万円の増加）、セグメント利益は2億38百万円（前年同期比1億43百万円の増加）となりました。

<機械事業>

機械事業におきまして、国内では各種業界における省人化設備に対する需要は拡大しており、売上は増加いたしました。資材価格の高騰や半導体不足による納期遅延が影響し、営業利益は前年同期並みとなりました。海外では円安が続いていることで輸出面でのメリットはあるものの、前年同期ほどの大型案件の獲得には至らず、売上、営業利益ともに減少いたしました。

これらの結果、売上高は29億76百万円（前年同期比2億78百万円の減少）、セグメント利益は2億34百万円（前年同期比1億7百万円の減少）となりました。

<資材事業>

資材事業におきまして、化成品部門では、昨今のマンション需要により主力の住宅用部材シートや印刷用フィルムの販売は堅調に推移したものの、包装資材などにおいて、引き続き原料価格の高騰分に対して販売価格への転嫁が想定よりも進まず、売上、営業利益ともに減少いたしました。農畜資材でも、農業用資材・肥料の拡販に努めましたが、それぞれ原料価格高騰の影響を受け、売上、営業利益ともに減少いたしました。

これらの結果、売上高は22億5百万円（前年同期比56百万円の減少）、セグメント利益は94百万円（前年同期比41百万円の減少）となりました。

<バイオティックス事業>

バイオティックス事業では、医療関係者向けや通信販売は引き続き堅調に推移しましたが、大手健康食品メーカー向け「アグリマックス」や「イムバランス」の素材および薬局向けOEM商品の販売が振るわず、売上高は72百万円（前年同期比11百万円の減少）、セグメント損失は0百万円（前年同期は0百万円のセグメント損失）となりました。

<物流事業>

物流事業では、経済活動の正常化に伴い、配送業務が回復傾向にあるものの、燃料高騰などの車両に係る経費負担増に加え、運送業界における慢性的な人員不足による経費増などもあり、売上高は6億45百万円（前年同期比19百万円の増加）、セグメント損失は37百万円（前年同期は6百万円のセグメント損失）となりました。

<その他>

その他といたしましては、不動産の賃貸、人材派遣業を行っており、売上高は26百万円（前年同期比0百万円の増加）、セグメント利益は20百万円（前年同期比0百万円の増加）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資 産）

当第1四半期連結会計期間末における総資産は908億56百万円（前連結会計年度比15.5%増）となりました。

総資産の増加は、主として売上債権及び棚卸資産の増加によるものであります。

（負 債）

当第1四半期連結会計期間末における総負債は647億90百万円（前連結会計年度比18.8%増）となりました。

総負債の増加は、主として仕入債務及び短期借入金の増加によるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産は260億66百万円（前連結会計年度比8.2%増）となりました。

純資産の増加は、主として資本金及び利益剰余金とその他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、前回公表（2023年5月12日）いたしました連結予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,613	8,511
受取手形及び売掛金	17,162	19,954
商品及び製品	24,639	31,227
仕掛品	836	1,004
原材料及び貯蔵品	3,472	3,717
前渡金	741	956
その他	750	973
貸倒引当金	△63	△70
流動資産合計	55,152	66,275
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,321	10,514
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,528	△6,597
建物及び構築物（純額）	3,792	3,916
機械装置及び運搬具	8,744	8,739
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,242	△6,343
機械装置及び運搬具（純額）	2,502	2,395
工具、器具及び備品	1,037	1,034
減価償却累計額及び減損損失累計額	△823	△833
工具、器具及び備品（純額）	214	201
土地	2,938	2,943
建設仮勘定	437	399
有形固定資産合計	9,885	9,856
無形固定資産		
その他	772	796
無形固定資産合計	772	796
投資その他の資産		
投資有価証券	11,919	12,994
長期貸付金	39	38
破産更生債権等	899	917
繰延税金資産	249	272
その他	526	524
貸倒引当金	△918	△935
投資その他の資産合計	12,715	13,812
固定資産合計	23,373	24,464
繰延資産		
社債発行費	122	116
繰延資産合計	122	116
資産合計	78,647	90,856

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,583	15,771
短期借入金	19,997	26,914
1年内償還予定の社債	576	576
1年内返済予定の長期借入金	1,062	1,061
未払法人税等	469	165
賞与引当金	508	289
その他	2,758	3,245
流動負債合計	37,956	48,023
固定負債		
社債	5,862	5,862
長期借入金	8,526	8,447
繰延税金負債	570	873
役員退職慰労引当金	143	138
役員株式給付引当金	184	188
退職給付に係る負債	744	725
その他	563	531
固定負債合計	16,595	16,766
負債合計	54,552	64,790
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,589	6,354
利益剰余金	16,252	16,559
自己株式	△916	△917
株主資本合計	20,925	21,997
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,707	3,467
繰延ヘッジ損益	△6	36
為替換算調整勘定	579	672
退職給付に係る調整累計額	△125	△120
その他の包括利益累計額合計	3,155	4,055
新株予約権	2	-
非支配株主持分	12	12
純資産合計	24,095	26,066
負債純資産合計	78,647	90,856

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	31,322	31,351
売上原価	28,343	28,453
売上総利益	2,978	2,897
販売費及び一般管理費	2,063	2,152
営業利益	915	745
営業外収益		
受取利息	1	3
受取配当金	98	111
持分法による投資利益	47	69
為替差益	3	3
その他	50	35
営業外収益合計	202	223
営業外費用		
支払利息	89	94
その他	16	19
営業外費用合計	105	114
経常利益	1,012	855
特別損失		
固定資産除却損	6	2
ゴルフ会員権評価損	1	-
特別損失合計	7	2
税金等調整前四半期純利益	1,004	852
法人税、住民税及び事業税	212	198
法人税等調整額	50	△11
法人税等合計	262	186
四半期純利益	741	666
非支配株主に帰属する四半期純利益	10	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	731	662

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
四半期純利益	741	666
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	195	700
繰延ヘッジ損益	85	43
為替換算調整勘定	350	93
退職給付に係る調整額	5	4
持分法適用会社に対する持分相当額	△10	60
その他の包括利益合計	625	900
四半期包括利益	1,367	1,566
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,357	1,563
非支配株主に係る四半期包括利益	10	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の著しい変動

当第1四半期連結累計期間において、第1回新株予約権の一部権利行使により、資本金が765百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が6,354百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							その他 (注)	合計
	食品事業	海洋事業	機械事業	資材事業	バイオ テイクス 事業	物流事業	計		
売上高									
外部顧客への売上高	20,365	4,702	3,254	2,262	83	626	31,295	26	31,322
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	62	312	31	96	—	7	509	6	516
計	20,427	5,015	3,286	2,358	83	633	31,805	33	31,838
セグメント利益 又は損失(△)	663	95	342	136	△0	△6	1,229	19	1,249

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に不動産賃貸業を営んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,229
「その他」の区分の利益	19
全社費用(注)	△334
四半期連結損益計算書の営業利益	915

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							その他 (注)	合計
	食品事業	海洋事業	機械事業	資材事業	バイオテ ィックス 事業	物流事業	計		
売上高									
外部顧客への売上高	19,549	5,873	2,976	2,205	72	645	31,324	26	31,351
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	174	585	10	90	—	9	870	4	874
計	19,723	6,459	2,987	2,295	72	655	32,195	31	32,226
セグメント利益 又は損失(△)	565	238	234	94	△0	△37	1,095	20	1,116

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に不動産賃貸業を営んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,095
「その他」の区分の利益	20
全社費用(注)	△371
四半期連結損益計算書の営業利益	745

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。